

# 近畿地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和8年3月18日（水）10:00～12:00

## □場所

近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1階 共用会議室1

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづか あつし 飯塚 敦	神戸大学 名誉教授	○
うの のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学大学院 工学研究科 教授	○
おがわ けいいち 小川 圭一	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授	○
かたの いずみ 片野 泉	奈良女子大学 研究院自然科学系 教授	
かな こういち 嘉名 光市	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授	
きむら れお 木村 玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 教授	○
こにし はなこ 小西 華子	竹林・畑・中川・福島法律事務所 弁護士	
【委員長】 こばやし きよし 小林 潔司	京都大学 名誉教授 京都大学経営管理大学院 特任教授	○
ただ のりこ 多田 穂子	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 代表理事・会長	
まきむら ひさこ 槇村 久子	京都女子大学 宗教・文化研究所 客員研究員	○

## □対象事業

- 一般国道8号 彦根東近江バイパス（I期）

## □議事概要（各委員からの意見）

【一般国道8号 彦根東近江バイパス（I期）】

- 彦根東近江バイパス（I期）の整備により、交通転換による交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待され、円滑で安全な道路ネットワークの構築に役立つとともに、防災面、地域の産業活動の活性化等にも役に立つ道路である。
- 長浜バイパス、米原バイパス、彦根東近江バイパスの連続利用が見込まれることから、交通利用に関するネットワークの連続性の観点から、一体評価区間の設定については妥当である。
- 彦根東近江バイパス（I期）については、米原バイパスからの延伸となる北側が渋滞などの現道課題が多いため、起点～犬上川までを先行して事業化することは妥当である。
- リスク分析に関しては、本事業のように事前に調査をすることは、品確法改正時に定められた理念にも合致するものであり、事前に調査し、あらかじめリスクを評価しておくことが重要である。
- 彦根東近江バイパス（I期）のトンネル区間において、重金属が確認された場合、滋賀県の環境部局と連携し、適切に対応すること。

## □結論

一般国道8号 彦根東近江バイパス（I期）  
の新規事業化については妥当である。